

(別紙)

成果の説明書

(氏名)坪井明彦	(学部)地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 一般財団法人全国大学実務教育協会編、池内健治監修、鈴木浩子・高橋修・坪井明彦・手嶋慎介著 [2013]『「上級ビジネス実務士」対応 接客のプロを目指す人のサービス実務入門』日経 BP 社、 第 1 部 1 章サービス実務の重要性、2 章サービスビジネスの種類、3 章サービス商品の特色、4 章サービスマネジメントの考え方 (p16-43) の執筆。 本書は、一般財団法人全国大学実務教育協会から日本ビジネス実務学会が執筆を委託されたものであり、日本ビジネス実務学会(執筆者)側の責任者を務めた。既存のサービス・ビジネスのテキスト(サービス・マーケティングやサービス・マネジメントのテキスト)が主に、マネジメント層やマネジャー層の視点で記述されているのに対し、本書は大学や短期大学を卒業してすぐに働く業務レベルの人たち、現場で働く人たちの視点で記述している。</p> <p>(2) ゼミ活動：正規の授業以外に PBL (Project Based Learning) に注力した。</p> <p>① リクルート北関東マーケティング(RMK)との産学連携プロジェクト 「中心市街地活性化のために街の人たちのリアルな外食消費のリアルな姿を調査し、報告する」という課題への取り組みに関わる調整や指導。なお、この調査結果と活性化のための提案は、「自分たちの街の元気を考える」調査報告会(リクルート北関東マーケティング×高崎経済大学地域政策学部 産学連携プロジェクト(前橋市共催))[2012年11月14日前橋元気プラザ 21]において報告し、RMK 社、リクルート社、行政関係者、商工会議所、商店街関係者、飲食店主、大学関係者など約 100 名が出席したが、非常に良好な評価であった。なお、この様子は群馬テレビ・NEWS ジャスト 6 (2012 年 11 月 14 日放送)、ぐんま経済新聞 (2012 年 11 月 22 日)、上毛新聞 (2012 年 12 月 13 日)でも取り上げられた。 また、この取り組みを通じて、学生たちの能力(学士力、社会人基礎力等といわれる基本的な能力)の伸長に関しても分析し、報告した(日本ビジネス実務学会第 40 回関東・東北ブロック研究会：2013 年 2 月 17 日「ゼミ活動を通じた PBL 実践の効果と課題」)。</p> <p>② 渋川市中心市街地活性化のための調査 2008 年から渋川市から受託しているプロジェクトであり、本年度は、 ・ 中心市街地の通行量調査 ・ 「シブめし」(渋川市の B 級グルメ的な名物)の考案とプレゼンテーション ・ まちなか交流イベント 2012 への参加 を実施した(『平成 24 年度渋川市中心市街地活性化のための調査報告書』(平成 25 年 3 月)参照)。</p>	

2 その他の事項

(3) 日本ビジネス実務学会における活動

- ① 日本ビジネス実務学会編集委員長（常任理事）として、ビジネス実務論集第 31 号の投稿募集、査読者選定、審査結果の確定、出版等、論集発行に関わる意思決定や業務の責任者として、ビジネス実務論集第 31 号を発行した。
- ② 日本ビジネス実務学会の関東・東北ブロック・リーダー（運営責任者）として、関東・東北ブロックのブロック研究会の運営のために尽力した。
- ③ 日本ビジネス実務学会第 32 回全国大会（2013 年 6 月 7・8 日）の副実行委員長として、研究発表の募集やプログラム・要旨集の作成・発行に関わる業務に尽力した。

2013 年度においては、日本ビジネス実務学会第 32 回全国大会を成功させることとともに、ゼミ活動を通じた PBL に取り組むことと、地域デザインの研究など、引き続き地域活性化に貢献するような教育・研究に取り組んでいきたい。